


## 各報道機関 様

大田区広聴広報課

5744-1132

 情報提供

## 表 題

**【画期的】町工場のものづくり力がパラスポーツに大貢献！**  
～車いすバスケットボール日本代表選手に開発部品が採用されました～

## &lt;背景及び概要&gt;

大田区及び大田区産業振興協会では平成 29 年度から令和 2 年度までの期間、東京 2020 パラリンピック競技大会を見据え、区内中小企業 14 社と車いすメーカーとの連携により「障がい者スポーツ用具製品開発事業」（以下「本事業」という。）を実施いたしました。

車いすバスケットボール日本代表選手へ東京 2020 パラリンピック競技大会での採用を目指し、車いすを操作する上で重要なキャスター部品である「フォーク」と「シャフト」に焦点を当て、開発してきました。本事業の最終年度である令和 2 年度は、軽量化を飛躍的に高める開発を行い、その最終試作品は、日本代表候補選手はもとより、チームスタッフからも高い評価をいただくことができました。

この度の東京 2020 パラリンピック競技大会内にて、本事業で開発された「フォーク」と「シャフト」が男子・女子ともに車いすバスケットボール日本代表選手に採用され、男子は銀メダルを獲得、女子は 6 位入賞という好成績を収めることができました。誠に慶賀に堪えない快挙となり、改めて区内のものづくり産業の技術力の高さが証明されるとともに、大田区の「開発力」や「製造対応力」でパラリンピックに貢献することができました。

## &lt;採用製品&gt;

車いすバスケットボール用車いすのキャスター部品「フォーク」及び「シャフト」

## &lt;重量&gt;

「シャフト」と「フォーク」合わせて、1 つにつき 59 グラム。  
既存製品（119 g）に比べて約 50%の軽量化につながりました。

※車いすバスケットボール用車いす 1 台につき、キャスターを  
3 つまたは 4 つ使用するため、180 g から 240 g の軽量化を  
実現しました。



## &lt;日本代表選手採用者一覧&gt;

男女 24 名中 14 名、詳細は別紙の通り

## &lt;参考&gt;

車いすバスケットボールは、下肢などに障がいのある選手が、競技用車いすを巧みに操作しながらプレーするバスケットボール。使用するコートやリングの高さなどは一般のバスケットボールと同じで、激しい攻防やスピーディーなパスワークが魅力。1960 年にローマで開催されたパラリンピック第一回大会から実施されており、現在でも最も人気のある競技のひとつです。

一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟（HP より）：

<https://jwbf.gr.jp/wheelchairbasketball>

## 問合せ先

産業経済部産業振興課  
電話：03-5744-1614  
(公財) 大田区産業振興協会  
電話：03-3733-6145

## 東京 2020 パラリンピック競技大会 車いすバスケットボール日本代表選手

## 大田区製フォーク及びシャフト採用者一覧

| NO | 性別 | 持ち点 | 背番号 | 氏名     |
|----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 男子 | 1.5 | 6   | 川原 凜   |
| 2  |    | 2.0 | 1   | 豊島 英   |
| 3  |    | 2.0 | 11  | 藤澤 潔   |
| 4  |    | 2.5 | 2   | 鳥海 連志  |
| 5  |    | 2.5 | 8   | 赤石 竜我  |
| 6  |    | 3.5 | 55  | 香西 宏昭  |
| 7  |    | 4.0 | 21  | 高松 義伸  |
| 8  |    | 4.5 | 13  | 藤本 怜央  |
| 9  | 女子 | 1.0 | 2   | 財満 いずみ |
| 10 |    | 1.5 | 10  | 萩野 真世  |
| 11 |    | 2.5 | 5   | 平井 美喜  |
| 12 |    | 2.5 | 88  | 小田島 理恵 |
| 13 |    | 3.0 | 14  | 清水 千浪  |
| 14 |    | 4.0 | 12  | 藤井 郁美  |

※日本代表選手男女 24 名中のち、上記 14 名に採用（男子 8 名、女子 6 名）。